

(10) 北信地域 ～輝く人と恵まれた自然を活かした心豊かで元気な北信州農業～

重点戦略1：経営感覚に優れた元気な担い手の育成

| 目標指標 | H22 基準年 | H26 | | H29 目標年 |
|-------------------|------------|------|------|------------|
| | | 計画 | 実績 | |
| 40歳未満の新規就農者数（単年度） | 13人 | 31人 | 27人 | 31人 |
| 認定農業者数 | 900人 | 900人 | 705人 | 1,000人 |
| 集落営農組織数 | 22組織 | 28組織 | 28組織 | 28組織 |

<施策の取組状況>

○ 関係機関の連携による担い手の支援体制の強化

- 市町村や農業委員会、JA等の関係機関が連携し、新規就農情報を共有するため、就農推進連絡会議を2回開催するとともに、Iターン就農者の定着を進めるための研修会を開催した。
- 就農相談や青年就農給付金受給者等の定期的な巡回により円滑な就農を推進した。
- 人・農地プランの充実に向け、プロジェクトチームによるプランの見直し・推進を支援した。

○ 新規就農者、女性農業者、定年帰農者等多様な担い手の育成

- 若い女性農業者が農業に誇りと自信を持って取り組んでもらうため、農村女性プランの実践として北信州農村女性のつどいを開催した。
- 家族経営協定の理解促進及び締結を7件推進した。
- 簿記による経営管理を推進するため、複式簿記導入講座を8回開催するとともに、若い農業者の個別指導による記帳改善と経営分析を実施した。

○ 青年農業者、女性農業者組織の育成・支援

- 自律したリーダー的農業経営者を育成するため、北信州農業道場入門科（2コース、講座延べ12回）、本科（集合研修・延べ7回）の開催をした。

○ 集落営農組織の育成・支援

- 集落営農組織の法人化に向けた支援を行うとともに、経営安定化のため3法人の運営を支援した。



【農業道場基礎コース りんごの着果管理】

<今後の展開方向>

- 就農相談会や関係機関との連携による担い手の確保・育成をします。
- 北信州農業道場の講座で新規就農者の育成を図るとともに、必要に応じて個別巡回を実施するなど、個別課題解決に向けた支援により自律した青年農業者の育成をします。
- 水稻を中心とした農業法人に対し、経営管理能力を高め、安定した経営ができるよう支援します。

重点戦略2：人と環境にやさしい農業の推進

| 目標指標 | H22 基準年 | H26 | | H29 目標年 |
|---------------------|------------|--------|--------|------------|
| | | 計画 | 実績 | |
| 信州の環境にやさしい農産物認証取得面積 | 273ha | 429ha | 315ha | 530ha |
| 環境保全型農業直接支援対策実施面積 | 5ha | 28ha | 28ha | 30ha |
| GAP手法を活用している農家グループ数 | 10グループ | 15グループ | 13グループ | 20グループ |
| 侵入防止柵の設置延長 | 22.7km | 80km | 69.2km | 100km |

<施策の取組状況>

○ 信州の環境にやさしい農産物認証制度の周知と認定取得へ誘導

- 農産物直売組織やJA生産部会等によるエコファーマーの集団取得と再認定に向けた講習会を2回開催した。
- 環境にやさしい農産物認証制度への取組に対する栽培基準を作成するため、2団体で検討会を開催した。
- 環境にやさしい米や野菜づくりに向けた実証ほを2箇所設置するとともに検討会を開催した。
- 病害虫発生予察による適期防除を推進するため、フェロモントラップを果樹7箇所、野菜2箇所、クロープナビを3箇所に設置し、関係機関や農業者へ情報提供した。



【環境にやさしい水稻実証ほ成績検討会(栄村)】

○ 消費者から信頼される農業を目指したGAPの導入推進

- 長野県GAP規範の導入を推進するため、研修会を3回開催した。
- モデルグループ(13グループ)に対する指導会を3回、巡回を3回実施した。
- 観光農園及び農産物直売所の取組を推進するため、モデル観光園2箇所、直売所1箇所でのGAPの導入を支援した。

○ 関係機関、団体等と連携した野生鳥獣に負けない集落づくり

(個体数調整、集落ぐるみの環境整備、侵入防止柵の設置)の推進

- 集落による取組を推進するため、被害対策チームによる学習会を2集落、ハクビシン防止対策を2箇所、野生鳥獣捕獲わな講習会を2回開催した。
- 被害防止を図るため、侵入防止柵(電気柵)を69kmの設置と管理指導を行った。

<今後の展開方向>

- エコファーマー制度や環境にやさしい農産物認証制度の取組を推進するため、集団を対象とした支援を進めます。
- 農産物直売所の運営力の向上や質的向上を進めるため、GAPの取組を支援します。
- 侵入防止策の整備や個体数調整等集落が一体となった鳥獣被害防止対策を推進します。

重点戦略3：地域資源を活かした個性輝く産地の育成

| 目標指標 | H22 基準年 | H26 | | H29 目標年 |
|------------------------------|------------|-------|-------|------------|
| | | 計画 | 実績 | |
| 原産地呼称管理制度認定米面積 | 7.7ha | 39ha | 12ha | 45ha |
| りんご3兄弟の栽培面積 | 134ha | 154ha | 155ha | 162ha |
| ぶどうナガノパープル・シャインマスカット等無核品種の面積 | 45ha | 61ha | 56ha | 80ha |
| プラムの栽培面積 | 56ha | 66ha | 66ha | 73ha |
| アスパラガスの新植、改植面積 | 15ha | 76ha | 71ha | 116ha |
| きのこの複合経営農家数 | 237戸 | 251戸 | 261戸 | 260戸 |

<施策の取組状況>

○ 消費者ニーズを捉えた高品質な農畜産物を生産するため、県オリジナル品種や地域優良品目の導入及びこだわりを持った生産等によるブランド力の向上

- りんご県オリジナル品種の品質向上と生産拡大のため、技術講習会を5回開催した。
- ぶどうナガノパープル、シャインマスカットの品質向上と生産拡大のため、講習会を5回開催した。
- もも・すももの高品質、安定生産に向けた適期防除の推進と、すもも新品种の導入検討を4回実施した。
- 信州黄金シャモの安定生産に向け、飼育技術研修会の開催及び定期巡回指導を実施した。
- 信州プレミアム牛の増産を目指した和子牛生産技術の向上に向け、ET子牛の飼育技術向上のため巡回指導を5回実施した。

- **売れる米づくりに向け、高温障害対策等の栽培技術の励行や新品種の導入による品質食味を重視した米づくり**
 - 施肥等基本技術の徹底による高品質米の生産に向けた展示ほを設置した。
 - 適品種の導入のための現地適性試験の展示ほを1か所設置した。
 - 雑草性赤米の減少に向けた発生状況の把握と抜き取りの徹底をするため、展示ほを2か所設置した。
- **ぶどうやアスパラガス、シャクヤク等北信州の特徴ある農産物の高品質安定生産と長期出荷体制を強化するための施設化の推進**
 - 各種補助事業を活用したアスパラガスの雨除け・簡易雨除け施設の導入拡大(40a)をした。
- **アスパラガスの病害防除対策の推進に向けた、モデル実証ほを活用した新技術の早期普及**
 - 立茎後からの体系防除の導入を150戸で推進した。
 - 排水対策を実施した水田におけるモデルほを1か所設置し、水田転作や新規作型の導入による新改植面積を11ha拡大した。
- **きのこの需要減少期に対応した経営の複合化の推進**
 - 10戸のきのこ農家において、複合品目として野菜や花き等の導入を推進した。
- **高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫の蔓延防止のための防疫体制の強化**
 - 高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫の蔓延防止をするため、関係機関との打ち合わせ会議及び初動防疫確保のための防疫演習を開催した。
- **J A・市町村と連携した放射性物質に係る農畜産物のサンプル検査による消費者の放射性物質に対する不安の解消**
 - J Aや市町村と連携した放射性物質に係る農産物サンプル検査を実施した。
- **食品産業との契約取引による新たな販路の開拓**
 - 個別マッチングの推進と契約に向けた調整・助言(農産物・加工品の新規契約成立件数5件)した。
 - 商談会及び交渉力アップ研修会を3回開催した。
- **6次産業化等により新たな需要拡大の推進支援**
 - 六次産業化法に基づく総合化事業計画作成に向け、地域推進員との連携による助言・支援(認定支援数4件)及び認定事業者に対し事業推進のための支援(4件)をした。
- **伝統野菜等の個性ある野菜栽培の支援**
 - ぼたんこしょうの生産安定に向けた、栽培講習会を2回、巡回指導会を3回実施した。
 - 坂井芋の優良系統の選抜に向けた品評会の開催を支援した。



【アスパラガス病害虫防除指導】

＜今後の展開方向＞

- りんご及びぶどうの県オリジナル品種やシャインマスカットの品質の向上を図るため、J Aと連携した講習会や園地巡回等の支援をします。
- アスパラガスの栽培面積の維持のため、体系防除や新規作付、改植の推進を支援します。
- 雑草稲の減少に向けた抜き取りや施肥技術等基本技術徹底等により米の品質向上を進めます。
- 六次産業化を希望する農業者の総合化事業計画作成とその後の事業取組の支援を行います。

重点戦略4：安全で住み良い農村づくり

| 目標指標 | H22 基準年 | H26 | | H29 目標年 |
|--------------------------|------------|---------|---------|------------|
| | | 計画 | 実績 | |
| 地すべり対策工事による土砂災害未然防止面積 | 929ha | 929ha | 929ha | 960ha |
| 基幹水利施設の機能診断・保全計画策定済延長 | 14km | 35km | 60km | 60km |
| 地域ぐるみで取り組む農地・水・環境保全活動面積※ | 2,512ha | 2,664ha | 3,290ha | 2,700ha ※ |

※「地域ぐるみで取り組む農地・水・環境保全活動面積」については、見直し前の標記となっています。

＜施策の取組状況＞

- **農業・農村の多面的機能の維持や農村コミュニティの活性化に向けた、地域ぐるみの協働活動への支援**
 - 多面的機能支払や中山間直接支払により農業生産活動の維持向上を支援した。
 - 市町村や土地改良区等関係機関を巡回し、多面的機能支払の取組を推進した。
- **地すべり対策や中山間地域の農業用水路やため池の保全対策の推進**
 - 七瀬地区（中野市）など4地区で計画的に地すべり対策を進め、土砂災害の未然防止を図った。
 - 関係者の地すべり対策に関する知識向上を図るため、地すべり協議会を2回開催した。
 - 岡山地区（飯山市）において農業用水路等の保全対策を推進した。
 - 農山村復興基盤整備事業栄地区の実施による菅沢農地の耕作障害の解消を図った。
 - 栄村の農業復興に向けた中山間総合整備事業の事業計画策定を支援し、国の採択を受けたことで、平成27年度から事業着手することとなった。
 - 新自然エネルギーの普及に向けた小水力発電等を推進するため、2箇所で大水力発電の案件形成にかかる支援を行うとともに、市町村や土地改良区等に情報提供を行い、自然エネルギー（小水力）の普及を推進した。
- **農業水利施設の計画的な更新と長寿命化対策の推進**
 - 基幹的農業水利施設を計画的に機能診断し、4箇所で大水力発電の案件形成
 - 策定した保全計画に沿った施設補修を行うため、土地改良区が行う事業計画の策定を支援し、平成27年度から2地区で保全対策に着手することとなった。
- **耕作放棄地の再生に向けた地域ぐるみによる特色ある地域振興作物の作付推進**
 - 耕作放棄地の再生を進めるため、にんにく、アスパラ等の振興作物の作付推進を行った。（耕作放棄地解消面積43ha）



【堤体の改修によるため池の保全
（飯山市岡山地区下境新堤ため池）】



【多面的機能支払により末端かんがい施設更新】



＜今後の展開方向＞

- 多面的機能支払や中山間直接支払共同活動を市町村と連携し推進します。
- 地すべり対策工事の計画的な実施により土砂災害を未然に防止する。
- 基幹水利施設を管理する市町村、土地改良区と連携し、保全計画の策定を進めます。
- 地域ぐるみで取り組む多面的機能支払について、関係機関と連携し更なる推進を図ります。
- 耕作放棄地の解消を進めるため、にんにく、えだまめ等地域振興作物の導入を進めます。

重点戦略5：地域食文化の伝承と農作業体験等の都市農村交流の推進

| 目標指標 | H22 基準年 | H26 | | H29 目標年 |
|----------------------|------------|---------|---------|------------|
| | | 計画 | 実績 | |
| 都市農村交流人口 | 31,637人 | 35,500人 | 44,483人 | 37,000人 |
| 直売所販売額 | 10億円 | 13.4億円 | 14億円 | 14億円 |
| 「おいしい信州ふーど（風土）」SHOP数 | 0店 | 26店 | 69店 | 50店 |

<施策の取組状況>

- インターネットやマップ、「おいしい信州ふード(風土)」を活かした地元ならではの食の積極的な情報発信
 - 関係機関と連携して「おいしい信州ふード(風土) 物語」を8品目作成した。
- 食、健康、体験、ふるさと回帰をキーワードに、観光と連携したグリーン・ツーリズム等都市交流を支援
 - 地元食材を使った料理講習会を3回開催するとともに、きのこ料理メニューの検討会を通じ、商工業者や観光業者との交流支援をした。
- 女性の技を活かして次世代・消費者へ郷土の味の伝承と地元農産物の利活用拡大
 - 伝統や郷土料理の継承を図るため、講習会を3回開催した。
- 農産物直売所及び観光農園の資質向上に向けた活動支援
 - 農作業体験の受け入れによる都市との交流体験の実施を支援した。
 - 新幹線延伸を活かし、起業を目指す農業者を育成するため新商品の開発を支援した。(飯山市の駅弁、信州の味コンクール出品支援)



【おいしい信州ふード物語作成検討会】

<今後の展開方向>

- おいしい信州ふード(風土)の認知度の向上をさせるため、おいしい信州ふード(風土)物語の作成及び物語を活用したPRを進めます。
- 農産物直売所の質の向上を図るため、品目の拡大や経営・運営力の支援をします。
- 郷土の味を伝承させるため、次世代や一般消費者に対する体験活動を支援します。